

< 声明 > **私たちは「共謀罪」の新設に反対します。**

私たちは、岐阜の地で放送、新聞、雑誌、同人誌などでの発言や表現、大学や寺の講話などさまざまな公共の場で、言論・表現・思想の自由を守り育てています。

現在、国会で審議中の「共謀罪」法案は、「テロ等準備罪」などと言い換えていますが、骨組みや内容は、過去3回廃案になった「共謀罪」法案と本質的に同じです。

(1)「共謀罪」は、現在の「実行した違法行為を裁く」という刑法の原則を根本から変更し、まだ実行していないことを取り締まりの対象とすること、(2) そのために警察の一方的な見込みによって情報を集めたり、思想・信条を捜査することを可能にするものです。

これは、戦時中の治安維持法や特高（特別高等警察）が行っていたような一般市民の思想・言論・人権の抑圧や、密告の奨励につながる恐れがきわめて強い制度です。私たちの社会は、互いに心を閉ざす「監視社会」へと向かいかねません。

これまで日本弁護士連合会など多くの団体や地方議会が反対してきましたが、5月18日には国連人権理事会の特別報告者ジョセフ・ケナタッチ氏が、「世界人権宣言」12条や「国際人権規約」17条にある「プライバシーや表現の自由を制約するおそれがある」と懸念する書簡を、安倍晋三首相あてに送りました。しかし政権は耳を傾けません。

「共謀罪」は、私たちの自由な表現や親しい対話、大切な情報交換を権力の監視下に置き、和やかな岐阜をも息苦しい地域に変える道を開くものです。私たちは、「共謀罪」の新設に、強く、深く反対し、国会での廃案を求めます。

2017年5月30日

出原 美香（てにておラジオ）
岩田 すみ子（元岐阜新聞記者。岐阜市女性問題連絡会）
太田 維久（元NHK記者。岐阜県会議員）
大牧 富士夫（『遊民』同人）
岡田 啓（『現代批評フォーラム・黙示録』代表。文芸評論家）
小笠原 まや（僧侶）
金山 智子
河合 良房（弁護士）
河村 たか子（フリーアナウンサー）
近藤 真（岐阜大学教授。憲法）
三摩 真己（元NHK記者。中部大学教授）
高野 春広（元NHKアナウンサー。東海学園大学名誉教授）
高橋 和江（元岐阜放送アナウンサー。岐阜市会議員）
高橋 健（メディアウオッチャー。元新聞記者）
高橋 恒美（元読売新聞記者。フリージャーナリスト）
巽 明（元NHKチーフエンジニア）
津田 正夫（元NHKプロデューサー。元立命館大学教授）
野原 仁（岐阜大学教員。ジャーナリズム論）
原 美智子（てにておラジオ顧問。NPO法人スマイル Basket 理事長）
三上 みき（生活情報誌『にらめっこ』編集長）
水野 友有（中部学院大学准教授。「まちかど大学」）
吉田 千秋（元岐阜大学教授。哲学）